

発行日: 2012年4月1日
龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

2011年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経過しました。昨年度、ボランティア・NPO活動センターでは、募金活動をはじめ、実際に被災地で復興支援活動を行うなど、様々な形で復興支援に関する取り組みを行いました。

震災を機にボランティアに関心を持った学生が多く、2010年度は深草・瀬田の両キャンパス合計のボランティア相談件数490件のところ、2011年度は766件(3/27現在)と大幅な伸び数となりました。今年度も復興支援活動を続けると共に、日常的なボランティアのきっかけづくりにも取り組みます。

■■■■東日本大震災 復興支援プロジェクト ■■■■

災害ボランティア・NPO活動サポート募金の助成決定！

龍谷大学では、宮城県で実施した『東日本大震災復興支援ボランティア事業』(第1～第3回)で、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業の第5次助成で50万円の助成金を受けることが出来ましたので、ご報告します。

今後も、被災された皆様に心を寄せながら、東日本大震災の復興支援のために努力したいと思っています。

☆赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(愛称:ボラサポ)は、「東日本大震災で被災された方たちを支えるボランティアやNPOの皆さんを応援したい!」と世界中から寄せられた“意志あるお金”です。詳しくは、中央共同募金会のHPをご覧ください。



龍谷大学吹奏楽部コンサート in 南三陸町 <3月4日>

東日本大震災後、本学ではさまざまな復興支援活動が展開されてきました。その1つの取り組みとして、南三陸町での支援活動があります。その取り組みを通して、南三陸町の職員の方々ともご縁ができました。東日本大震災における深い悲しみにある人々に寄り添い、その心の復興支援のために行う社会貢献事業として吹奏楽部のコンサートを開催することになりました。本学の吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールで金賞を8回受賞するなど、人気・実力ともに関西を代表する全国屈指の学生バンドとして活躍しています。



本番では、誰もが一度は聞いたことのある曲を演奏し、演奏者、参加者が一体となって音楽を楽しむことが出来ました。特にアンコールでは「世界に一つだけの花」を会場の皆様とともに合唱し、2度目のアンコールでは、地元の踊りサークルの方も加わったサンバ隊を結成して「マツケンサンバ」を演技・演奏しました。会場全体が一体となり、寒さも飛んでいく熱気に溢れたコンサートとなりました。終演後は会場内で、楽器のセクションやパートに分かれ、本学吹奏楽部員が地元の志津川中学校吹奏楽部の皆さんの一人ひとりの質問や疑問に対しては模範演奏で応えるなど、楽器を通じた交流会を実施することが出来ました。



「震災後初めてのコンサートでした。一曲、一曲が胸に響き元気をいただきました。」という言葉をいただくなど、南三陸町の皆さんに楽しい時間を過ごしていただくことができたのではないかと思います。

東日本大震災復興支援パネル展示の実施 <3月9日～4月2日>

東日本大震災から1年が経過し、改めて東日本大震災をふりかえり、今後の活動につなげていくために東日本大震災に関するパネル展示を実施しました。屋外での展示にもかかわらず、足を止めて熱心に展示を見てくださる方が多く、関心の高さが伺われました。



瀬田キャンパスの展示の様子

●展示内容

- (1) 浄土真宗本願寺派（西本願寺）から提供を受けた、パネル写真【被災地真宗寺院及び近辺の被害状況、復旧支援活動の様子】
- (2) 赤松 徹真 学長からのメッセージ
- (3) 本学のボランティア活動の様子（学内外での活動）



深草キャンパスの展示の様子

●展示場所

- ・深草キャンパス ウッドデッキ（東門付近）
- ・瀬田キャンパス 1号館ロビー

2011年度12月～3月までの活動の報告

**グローバルなワークでワクワク！
～震災から多文化共生を Thinking～**

2011年12月16日（金）に瀬田キャンパス学生交流会館カンファレンスルームにて、『震災ワークから多文化共生・異文化理解を知ってもらう』ということを中心に、日本語が読めない・書けない・話せない人の立場からになって考えるワークショップを瀬田の学生スタッフの企画で実施しました。

参加者が13名と残念ながら少なかったのですが、参加者から「もし自分が外国で災害に遭ったら、どのような状況に陥るのキャリアに想像することができた。今回の東日本大震災では、実際にこのような恐怖を味わっておられたと思うと人とのつながりは本当に大切だと思った。」など、多文化の中で生活する際に必要な配慮などに気づく良い機会になりました。



ボランティアリーダー養成講座 「チームビルディング チームを運営するにはコツがある！～グループ・チーム内の運営とそのマインドを学ぶ～」

2012年2月7日（火）13:30～16:30で深草キャンパスにおいて、講師に京都YMCAの中村彰利氏をお招きし、ボランティアリーダー養成講座を実施しました。体を動かしたり、グループで「お互いのことを知るためには？」といった内容のディスカッションなどをしたりして、グループ運営のコツを学びました。

参加者は定員を超える67名で、活発に意見が出たり大きな笑いが起こったりと、非常に楽しくかつ熱気に満ちた講座となりました。参加者からは、「先輩としての心構えや新入生の迎え方などが非常に勉強になり、運営面やリーダーになった時に役立つと思いました。」「他のサークルなど色々な人の意見や考え方を聞き、すごくためになりました。とても内容の濃い3時間でした。」などの声を頂きました。

学生スタッフ・春合宿を実施！

深草・瀬田の学生スタッフが今年度の活動をふりかえり、来年度の活動を考えるための春合宿を実施しました。宿泊場所は共にともいき荘で、密度の濃い時間を過ごしました。さらにパワーアップした学生スタッフにご期待ください！

実施日：3月1日～2日【深草】
3月12日～13日【瀬田】



深草学生スタッフ



瀬田学生スタッフ

春季海外体験学習プログラム（2月17日～3月13日）

下記の3つのプログラムを実施しました。選考の結果、タイ王国4名、フィリピン共和国6名、ネパール連邦民主共和国に1名が旅立ち、無事に帰ってきました。

テーマ	訪問国	期 間	主催
スマトラ島沖地震大津波から7年。 津波被災地の今を訪ねる津波復興タイ感ツアー	タイ王国	2月17日～2月25日	フェアトレード「ツナミクラフト」
貧困の中で生きる人々と出会い、向き合う旅	フィリピン共和国	2月23日～3月5日	アクセス（ACCESS） －共生社会をめざす地球市民の会－
世界の屋根ヒマラヤの国環境を守る「バイオガスプラント」支援活動	ネパール連邦民主共和国	3月6日～3月13日	アジア協会アジア友の会（JAFS）



タイ王国



フィリピン共和国



ネパール連邦民主共和国

★4月24日（火）17：30～19：00 海外体験プログラムの報告会を深草キャンパスで実施します。詳細は未定ですが、参加した学生が写真などを交えながら、自分たちの経験を語ります。詳細が決まり次第ポスター等で掲示します。詳しくはボランティア・NPO活動センターまでお問い合わせください。

今 後 の 活 動 に つ い て

『ボランティア入門講座』を5月から7月にかけて全3回で実施する予定です。第1回目は「ボランティアとは何か？」を理解してもらうために、外部講師をお招きし、ワークショップ形式でボランティアについて学びます。第2回目は「ボランティア体験」ということで複数ある体験先から1つを選び、実際にボランティアを体験します。第3回目は「ふりかえり」参加者それぞれの体験を共有し、自分たちが体験したことを深めます。決まり次第、HP等を通じてお知らせいたします。



第1回目



第2回目



第3回目

○発行責任者 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 松島 泰勝
 URL : <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> 深草（内線1490）瀬田（内線7252）
 MAIL : ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

学生のボランティア活動支援

— 講義・ゼミで当センターの活動を紹介します —

東日本大震災をきっかけにボランティアに関心を持つ学生が急増しました。しかし、残念ながらボランティアについての理解が十分にされているとは言えません。

学生時代のボランティア活動は、大学の中で行う知識蓄積型の教育とは異なり、現場に足を運んで手に触れ目を見て耳を傾けるといった体験型の教育として、学生の成長を促してくれます。

ぜひ、学生にボランティアについて正しい理解をしてもらい、もっとボランティア・NPO活動センターを活用してもらいたいと考えています。

そこで、講義やゼミ（演習）で、ボランティア活動とボランティア・NPO活動センターの活動をボランティアコーディネーター（職員）が紹介します。



本学のボランティア・NPO活動センターが紹介するボランティア活動は、正課外活動であり、単位等として授業との直接的な関係はありません。しかし、ボランティア活動を行う中で学生が自ら問題意識を持ち、主体的に取り組んだときに生ずる感動、驚き、挫折、葛藤、後悔などのリアリティある体験が、学生の成長を促し日常の学習にも大きな影響を与えると確信しています。

このため、今回ボランティア活動のきっかけ作りとして、講義やゼミ（演習）でボランティアについての説明と、当センターの活動紹介を行います。担当の先生で当センターの紹介をご希望の方は、当センターまでお申し込みください。

2012年4月1日
ボランティア・NPO活動センター
センター長 松島 泰勝

紹介内容

1. 内容

- (1) ボランティア・NPO活動センターの活動
- (2) ボランティアとは
- (3) ボランティア活動を経験するまで

2. 時間 30～90分（ご希望に合わせて）

- (一例) 30分：センター紹介、「ボランティアとは」について（講義）
60分：上記に質疑応答が入る
90分：活動紹介、センター案内（実際にセンターへ案内します。）

3. 日時 4月～7月（正式な日時は先生とメール等で調整させていただきます。）

- ※お申し込みは下記（センター事務局）まで電話・メールにてお願いします。
ご希望の方は4月中にご連絡ください。

問合せ先（内線番号）

ボランティア・NPO活動センター事務局

ボランティアコーディネーター（深草）竹田 純子（1491）竹村 光世（1490）
（瀬田）ヒギンズ尚美、東郷 珠美（7252）

